

2025年度（令和7年度）

履修案内

弘前大学医学部医学科

目 次

1. 令和7年度医学部医学科行事予定	2
2. 令和7年度健康診断日程表	5
3. 令和7年度授業日程表	6
4. 令和7年度授業時間割表〔1～6年次〕	12
5. 各学年のアウトカム	16
6. 医学科の使命・コンピテンシー	20
7. 専門教育科目試験申合せ	24
8. アンプロフェッショナルな学生の定義・対応に係る取扱要領	26
9. 不正行為ガイドライン(一部抜粋)	32
10. 事務手続き等について	34
11. 授業科目一覧 《2014年度～2018年度入学者》	38
《2019年度以降入学者》	40
12. 講義室等配置図	42
13. カリキュラムマップと弘前大学医学部医学科の理念・目的	44

各科目の授業計画（シラバス）は、CAMPUS SQUARE から確認することができます。

CAMPUS SQUARE トップ → 教務／授業関連
→ シラバス → シラバス参照

CAMPUS SQUARE



（学生出席確認専用）



令和7年度 医学部医学科 行事予定

医学科 1 年

区分	行 事	月 日
前 期	新入生・1年次学生ガイダンス	4月2日(水)
	青森県知事との懇談会	4月3日(木) 18:00~19:00
	入学式	4月4日(金)
	前期授業開始日	4月11日(金)
	開学記念日	5月31日(土)
	前期授業終了日	8月6日(水)
	夏季休業	8月7日(木)~9月30日(火)
	※夏季休業期間中に、早期体験実習(Early Exposure)を実施予定。詳細は後日周知する。	
後 期	後期授業開始日	10月1日(水)
	総合文化祭	10月17日(金)~10月19日(日)
	冬季休業前授業最終日	12月26日(金)
	冬季休業	12月27日(土)~1月4日(日)
	授業再開	1月5日(月)
	後期授業終了日	2月6日(金)
	学年末休業	2月7日(土)~3月31日(火)

医学科 2 年

区分	行 事	月 日
前 期	2年次学生ガイダンス	4月3日(木) 14:00~15:00
	前期授業開始日	4月7日(月)
	開学記念日	5月31日(土)
	前期授業終了日	7月31日(木)
	夏季休業	8月1日(金)~9月30日(火)
後 期	後期授業開始日	10月1日(水)
	解剖体慰霊祭	10月7日(火) 予定
	総合文化祭	10月17日(金)~10月19日(日)
	冬季休業前授業最終日	12月26日(金)
	冬季休業	12月27日(土)~1月4日(日)
	授業再開	1月5日(月)
	後期授業終了日	2月6日(金)
	学年末休業	2月7日(土)~3月31日(火)

医学科 3 年

区分	行 事	月 日
前 期	3年次学生ガイダンス	4月3日(木) 9:00~10:00
	前期授業開始日	4月7日(月)
	開学記念日	5月31日(土)
	実験動物慰霊式	6月20日(金) 午後
	前期試験期間	7月11日(金)~7月24日(木)
	夏季休業	7月25日(金)~9月30日(火)
後 期	後期授業開始日	10月1日(水)
	総合文化祭	10月17日(金)~10月19日(日)
	冬季休業前授業最終日	12月26日(金)
	冬季休業	12月27日(土)~1月4日(日)
	授業再開	1月5日(月)
	後期試験期間	1月16日(金)~1月29日(木)
	学年末休業	1月30日(金)~3月31日(火)

医学科 4 年

区分	行 事	月 日
前 期	4年次学生ガイダンス	4月3日(木) 11:00~12:00
	前期授業開始	4月7日(月)
	開学記念日	5月31日(土)
	前期試験期間	7月7日(月)~7月18日(金)
	夏季休業	7月19日(土)~9月7日(日)
後 期	CBT・学生事前説明会	8月25日(月)~8月29日(金)のうち1日実施予定
	総合教育演習Ⅰ(CBT)	9月3日(水)~4日(木)予定
	後期授業開始	9月8日(月)
	総合文化祭	10月17日(金)~10月19日(日)
	臨床実習前OSCE	11月29日(土)
	後期試験期間	12月17日(水)~12月26日(金)
	CCS授与式、5年次学生ガイダンス	1月最終週~2月第1週予定
	臨床実習Ⅰ開始	2月9日(月)予定

医学科5年

区分	行 事	月 日
前 期	CCS授与式	2月28日(金)
	5年次学生ガイダンス	2月28日(金)
	臨床実習Ⅰ	3月3日(月)～7月18日(金)
	開学記念日	5月31日(土)
	夏季休業	7月19日(土)～8月17日(日)
	臨床実習Ⅰ	8月18日(月)～8月29日(金)
後 期	臨床実習Ⅰ	9月1日(月)～12月26日(金)
	冬季休業	12月27日(土)～1月4日(日)
	臨床実習Ⅰ	1月5日(月)～2月6日(金)
	臨床実習Ⅱ開始	2月24日(火)予定

医学科6年

区分	行 事	月 日
前 期	6年次学生ガイダンス	(オンライン実施)
	臨床実習Ⅱ	3月17日(月)～8月1日(金) (クリニカルクラークシップⅡ 第1～5クール)
	開学記念日	5月31日(土)
	夏季休業	8月2日(土)～8月31日(日)
後 期	総合教育演習Ⅱ	9月1日(月)～10月24日(金) (クリニカルクラークシップⅡ 第6、7クール)
	臨床実習後OSCE	11月8日(土)予定
	総合教育演習Ⅲ(総合試験)	11月中旬予定
	医師国家試験	未定(例年2月上旬実施 厚労省施行通知により確定)
	学位記授与式	3月23日(月)

令和7年度 健康診断日程表

【定期健康診断】

保健管理センターHPから各自予約し、Web問診を回答のうえ、健康診断必ず受検してください。
HPからの予約は4月初旬に開始予定ですのでこまめに保健管理センターHPを確認してください。
6年生はマッチング手続きなどで健康診断証明書を求められる場合があります。
健康診断証明書は自動発行機から発行可能です。

対象	場 所	日 時		
令和7年度新入生(男性) (25Mの1年次、2年次学士編)	保健管理センター分室等	6月18日 (水)	14:00 ~ 15:40	
令和7年度新入生(女性) (25Mの1年次、2年次学士編)	保健管理センター分室等	6月11日 (水) 6月25日 (水)	14:00 ~ 15:40	
1年次(24M以下)、2～6年次 (男性)	保健管理センター分室等	5月22日 (木) 5月27日 (火) 5月30日 (金) 6月5日 (木)	13:30 ~ 16:00	
1年次(24M以下)、2～6年次 (女性)	保健管理センター分室等	5月29日 (木) 6月3日 (火) 6月6日 (金) 6月12日 (木)	13:30 ~ 16:00	

【2年次 末梢血検査】

生化学実習のアイントープ総合実験室での実習を行うために末梢血検査を受ける必要があります。
必ず受検してください。

対象	場 所	日 時		
2 年 次	学士編入者 24M1001～24M1030	保健管理センター(文京地区)	4月2日 (水)	9:30 ~ 10:30
	24M1031～24M1080		4月3日 (木)	9:30 ~ 10:30
	24M1081～24M1112 23M以下		4月4日 (金)	9:30 ~ 10:30

【4・5・6年次 B型肝炎ワクチン接種】

B型肝炎ワクチンは接種間隔を置き3回接種する必要があります。対象者は全3回の接種を受けてください。
詳細な日程は調整中のため決定後お知らせします。

対象	場 所	日 時
4年生、抗体価陰性の5・6年生 ※入学時にHBs抗体価陽性の学生 は接種対象ではありません。	基礎大講堂	6月予定
		7月予定
		12月予定

【4・5・6年次 採血】

4年生と令和7年度にB型肝炎ワクチン接種をした5・6年生が対象です。
HBs抗体価等検査のための採血となります。

対象	場 所	日 時
22M1001～22M1057	保健管理センター分室等	12月22日 (月) 10:00 ~ 11:00
22M1058～22M1112		12月23日 (火) 10:00 ~ 11:00
22M1121～22M1140, 21M以下、5・6年生		12月24日 (水) 10:00 ~ 11:00

※上記予定に変更があった場合は、掲示にてお知らせします。

2025年度 授業日程 1年

前期（網かけ期日は授業日）									後期（網かけ期日は授業日）								
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考
2025 年 4月			1	2	3	4	5	4日 入学式 1～10日 ガイダンス・履修相談等 11日 前期授業開始日	10月				1	2	3	4	1日 秋季入学式 後期授業開始日 1日 月曜日の授業 14日 月曜日の授業 17日午後～19日 総合文化祭(仮) 17・20日 全日休講日(仮) 23日 金曜日の授業 24日 全日休講日(仮) 25・26日 総合型選抜入試(仮)
	6	7	8	9	10	11	12	5		6	7	8	9	10	11		
	13	14	15	16	17	18	19	12		13	14	15	16	17	18		
	20	21	22	23	24	25	26	19		20	21	22	23	24	25		
	27	28	29	30				26		27	28	29	30	31			
5月					1	2	3	31日 開学記念日	11月							1	5日 月曜日の授業
	4	5	6	7	8	9	10			2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	
										30							
6月	1	2	3	4	5	6	7		12月		1	2	3	4	5	6	26日 冬季休業前授業最終日
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	
	29	30								28	29	30	31				
7月			1	2	3	4	5	18日 月曜日の授業	2026 年 1月					1	2	3	5日 冬季休業後授業再開日 15日 月曜日の授業 16日 全日休講日(仮) 17,18日 大学入学共通テスト(仮)
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31	
8月						1	2	6日前期授業・試験終了日 8日オープンキャンパス 12～14日一斉休業	2月	1	2	3	4	5	6	7	6日 後期授業・試験終了日 25,26日 個別学力検査(前期日程)(仮)
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30										
	31																
9月		1	2	3	4	5	6		3月	1	2	3	4	5	6	7	23日 学位記授与式
	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20			15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30							29	30	31					
計	—	15	15	17	16	17	—	※○→国民の休日, 振替休日	計	—	12	17	18	18	15	—	※○→国民の休日, 振替休日

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前期	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1

前期 75+5

	月	火	水	木	金
後期	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1

後期 75+5

※定期健康診断に伴い休講を措置した場合、7月・1月の補講期間に授業の実施を考慮するものとする。
 ※7月、1月の補講期間に関わらず、担当教員が学生と調整の上、適宜補講を実施するものとする。

2025年度 授業日程 2年

前期（網かけ期日は授業日）								後期（網かけ期日は授業日）									
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考
2025 年 4月			1	2	3	4	5	(4月中旬～6月下旬 定期健康診断) 30日 火曜日の授業	10月				1	2	3	4	1日 秋季入学式 ※1 後期授業開始日 月曜日の授業
	6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11	7日 解剖体展覧会(仮) 14日 月曜日の授業
	13	14	15	16	17	18	19			12	13	14	15	16	17	18	17日午後～19日 総合文化祭(仮) 17・20日 全日休講日(仮)
	20	21	22	23	24	25	26			19	20	21	22	23	24	25	23日 金曜日の授業 24日 全日休講日(仮)
	27	28	29	30						26	27	28	29	30	31		25・26日 総合型選抜入試(仮)
5月					1	2	3	31日 開学記念日	11月							1	5日 月曜日の授業
	4	5	6	7	8	9	10			2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	
										30							
6月	1	2	3	4	5	6	7		12月		1	2	3	4	5	6	26日 冬季休業前授業最終日
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	
	29	30								28	29	30	31				
7月			1	2	3	4	5	18日 月曜日の授業 31日 金曜日の授業	2026 年 1月					1	2	3	5日 冬季休業後授業再開日 15日 月曜日の授業 16日 全日休講日(仮) 17,18日 大学入学共通テスト(仮) ※3
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31	
8月						1	2		2月	1	2	3	4	5	6	7	6日 後期授業・試験終了日
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30										
	31																
9月		1	2	3	4	5	6		3月	1	2	3	4	5	6	7	
	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20			15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30							29	30	31					
計	—	15	15	17	16	17	—	※○→国民の休日，振替休日	計	—	12	17	18	18	15	—	※○→国民の休日，振替休日

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前期	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1

前期 75+5

	月	火	水	木	金
後期	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1	15 + 1

後期 75+5

2025年度 授業日程 3年

前期（網かけ期日は授業日）								後期（網かけ期日は授業日）										
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考	
2025 年 4月			1	2	3	4	5	(4月中旬～6月下旬 定期健康診断) 30日 火曜日の授業	10月				1	2	3	4	1日 秋季入学式 後期授業開始日 1日 月曜日の授業 14日 月曜日の授業 17日午後～19日 総合文化祭(仮) 17・20日 全日休講日(仮) 23日 金曜日の授業 24日 全日休講日(仮) 25・26日 総合型選抜入試(仮)	
	6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11		
	13	14	15	16	17	18	19			12	13	14	15	16	17	18		
	20	21	22	23	24	25	26			19	20	21	22	23	24	25		
	27	28	29	30						26	27	28	29	30	31			
5月					1	2	3	31日 開学記念日	11月								1	5日 月曜日の授業
	4	5	6	7	8	9	10			2	3	4	5	6	7	8		
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14	15		
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22		
	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29		
										30								
6月	1	2	3	4	5	6	7	20日 実験動物慰霊式	12月		1	2	3	4	5	6		
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13		
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20		
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27		
	29	30								28	29	30	31					
7月			1	2	3	4	5	3日 金曜日の授業	2026 年 1月					1	2	3	自習・補講期間(1/8～1/15) 後期試験期間(1/16～1/29) 17,18日 大学入学共通テスト(仮)	
	6	7	8	9	10	11	12	4		5	6	7	8	9	10			
	13	14	15	16	17	18	19	11		12	13	14	15	16	17			
	20	21	22	23	24	25	26	18		19	20	21	22	23	24			
	27	28	29	30	31			25		26	27	28	29	30	31			
8月						1	2		2月	1	2	3	4	5	6	7		
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14		
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21		
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28		
	24	25	26	27	28	29	30											
	31																	
9月		1	2	3	4	5	6		3月	1	2	3	4	5	6	7		
	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14		
	14	15	16	17	18	19	20			15	16	17	18	19	20	21		
	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28		
	28	29	30							29	30	31						

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前期	12 +	12 +	12 +	12 +	12 +
	1	1	1	1	1

前期 60+5

	月	火	水	木	金
後期	12 +	12 +	12 +	12 +	12 +
	1	1	1	1	1

後期 60+5

2025年度 授業日程 4年

前期（網かけ期日は授業日）								後期（網かけ期日は授業日）										
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考	
2025 年 4月			1	2	3	4	5	4日 入学式 11日 前期授業開始日 (4月中旬～6月下旬 定期健康診断) 30日 火曜日の授業	9月			1	2	3	4	5	6	3・4日 CBT(予定) 30日 秋季学位記授与式
	6	7	8	9	10	11	12			7	8	9	10	11	12	13		
	13	14	15	16	17	18	19			14	15	16	17	18	19	20		
	20	21	22	23	24	25	26			21	22	23	24	25	26	27		
	27	28	29	30						28	29	30						
5月					1	2	3	31日 開学記念日	10月				1	2	3	4	1日 後期授業開始日 1日 月曜日の授業 14日 月曜日の授業 17日午後～19日 総合文化祭(仮) 17・20日 全日休講日(仮) 23日 金曜日の授業 24日 全日休講日(仮) 25・26日 総合型選抜入試(仮)	
	4	5	6	7	8	9	10			5	6	7	8	9	10	11		
	11	12	13	14	15	16	17			12	13	14	15	16	17	18		
	18	19	20	21	22	23	24			19	20	21	22	23	24	25		
	25	26	27	28	29	30	31			26	27	28	29	30	31			
6月	1	2	3	4	5	6	7	CBT模試のための学習期間 (6/19～6/25) 26・27日 CBT模試(予定) 自習・補講期間(6/30～7/4)	11月							1	10日～Pre-CC(予定) 29日 Pre-CC OSCE	
	8	9	10	11	12	13	14			2	3	4	5	6	7	8		
	15	16	17	18	19	20	21			9	10	11	12	13	14	15		
	22	23	24	25	26	27	28			16	17	18	19	20	21	22		
	29	30								23	24	25	26	27	28	29		
7月			1	2	3	4	5	自習・補講期間(6/30～7/4) 前期試験期間(7/7～7/18)	12月		1	2	3	4	5	6	補講・後期試験期間 (12/17～12/19) ※12月末までに 成績確定依頼予定	
	6	7	8	9	10	11	12			7	8	9	10	11	12	13		
	13	14	15	16	17	18	19			14	15	16	17	18	19	20		
	20	21	22	23	24	25	26			21	22	23	24	25	26	27		
	27	28	29	30	31					28	29	30	31					
8月						1	2	※CBT実施1週間前 学生事前説明会実施予定	2026 年 1月					1	2	3	17,18日 大学入学共通テスト (仮) 21日 進級判定会議	
	3	4	5	6	7	8	9			4	5	6	7	8	9	10		
	10	11	12	13	14	15	16			11	12	13	14	15	16	17		
	17	18	19	20	21	22	23			18	19	20	21	22	23	24		
	24	25	26	27	28	29	30			25	26	27	28	29	30	31		
	31																	
									2月	1	2	3	4	5	6	7	※2/9～ クリクラⅠ開始 25,26日 個別学力検査(前期日程)(仮)	
										8	9	10	11	12	13	14		
										15	16	17	18	19	20	21		
										22	23	24	25	26	27	28		

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前 期	10 +	10 +	10 +	10 +	10 +
	1	1	1	1	1

前期 70+5

	月	火	水	木	金
後 期	10 +	10 +	10 +	10 +	10 +
	1	1	1	1	1

後期 50+5

2025年度クリニカルクラークシップ I スケジュール

前期								後期											
	日	月	火	水	木	金	土	備 考			日	月	火	水	木	金	土	備 考	
2025 年 3月							1	※2024年度 2月28日クリクラⅠ終了			1	2	3	4	5	6			
	2	3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	13			
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20			
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27			
	23	24	25	26	27	28	29			28	29	30							
	30	31												1	2	3	4		
4月			1	2	3	4	5			5	6	7	8	9	10	11			
	6	7	8	9	10	11	12		12	13	14	15	16	17	18				
	13	14	15	16	17	18	19		19	20	21	22	23	24	25				
	20	21	22	23	24	25	26		26	27	28	29	30	31					
	27	28	29	30															
5月					1	2	3			2	3	4	5	6	7	8			
	4	5	6	7	8	9	10		9	10	11	12	13	14	15				
	11	12	13	14	15	16	17		16	17	18	19	20	21	22				
	18	19	20	21	22	23	24		23	24	25	26	27	28	29				
	25	26	27	28	29	30	31		30										
6月	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5	6			
	8	9	10	11	12	13	14		7	8	9	10	11	12	13				
	15	16	17	18	19	20	21		14	15	16	17	18	19	20				
	22	23	24	25	26	27	28		21	22	23	24	25	26	27				
	29	30							28	29	30	31					冬季休暇		
7月			1	2	3	4	5		2026 年					1	2	3			
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10				
	13	14	15	16	17	18	19		11	12	13	14	15	16	17				
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24				
	27	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31				
8月						1	2	夏期休暇		1	2	3	4	5	6	7			
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14			
	10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21				
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28				
	24	25	26	27	28	29	30												
	31																		

※臨床実習 I (クリニカルクラークシップ I) 44週

2025年度 クリニカル・クラークシップⅡスケジュール

前期								後期									
	日	月	火	水	木	金	土	備 考		日	月	火	水	木	金	土	備 考
2025 年 3月							1	3/3～3/14実習休止期間	9月		1	2	3	4	5	6	第6クール
	2	3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	13	第7クール
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29			28	29	30					
	30	31													1	2	3
4月			1	2	3	4	5	第2クール	10月	5	6	7	8	9	10	11	8日 Post-CC OSCE
	6	7	8	9	10	11	12			12	13	14	15	16	17	18	
	13	14	15	16	17	18	19			19	20	21	22	23	24	25	
	20	21	22	23	24	25	26			26	27	28	29	30	31		
	27	28	29	30													
					1	2	3			第3クール	11月	2	3	4	5	6	
4	5	6	7	8	9	10	9	10	11			12	13	14	15		
11	12	13	14	15	16	17	16	17	18			19	20	21	22		
18	19	20	21	22	23	24	23	24	25			26	27	28	29		
25	26	27	28	29	30	31	30										
6月	1	2	3	4	5	6	7	第4クール	12月		1	2	3	4	5	6	
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	
	29	30								28	29	30	31				
7月			1	2	3	4	5	第5クール	2026 年 1月					1	2	3	
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31	
8月						1	2	夏期休暇	2月	1	2	3	4	5	6	7	
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30										
	31																

※臨床実習Ⅱ 20週 } クリニカル・クラークシップⅡ
 ※総合教育演習Ⅱ 8週 } (28週)

令和7年度 医学部医学科 授業時間割表〔1～6年次〕

[医学科校舎] ①基礎第1講義室 ②基礎第2講義室 ③講義棟
④基礎大講堂 △学生パソコン室

【前期】

1年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	1	基礎人体科学演習 ①基礎1		(基礎ゼミナール)	医の原則 ①基礎1	
火	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
水	1	教養教育	教養教育	臨床医学入門 ①基礎1		
木	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
金	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育

2年次 前期前半(4月～6月上旬)

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	2	解剖学・解剖学実習 ②基礎2				
火	2	解剖学・解剖学実習 ②基礎2				
水	2		地域医療入門 ②基礎2	解剖学・解剖学実習 ②基礎2		
木	2	解剖学・解剖学実習 ②基礎2				
金	2	解剖学・解剖学実習 ②基礎2				

2年次 前期後半(6月中旬～7月末)

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	2	生理学 ②基礎2		生理学・生理学実習 ②基礎2		
火	2		生理学 ②基礎2	生理学・生理学実習 ②基礎2		
水	2		地域医療入門 ②基礎2	生理学・生理学実習 ②基礎2		
木	2	生理学 ②基礎2		生化学実習 ②基礎2		
金	2	生理学 ②基礎2		生化学実習 ②基礎2		

3年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	3		感染症学 ③講義棟	消化器内科学・外科学Ⅰ ③講義棟	呼吸器内科学・外科学Ⅰ ③講義棟	内分泌・代謝学Ⅰ ③講義棟
火	3	循環器内科学・外科学Ⅰ ③講義棟	薬理学 ③講義棟	薬理学実習 / 病理学実習 ③講義棟		
水	3	循環器内科学・外科学Ⅰ ③講義棟	神経精神医学Ⅰ ③講義棟	病理学実習 ③講義棟		
木	3		小児科学Ⅰ ③講義棟	消化器内科学・外科学Ⅰ ③講義棟	社会医学・社会医学実習 ③講義棟	外科学概論 ③講義棟
金	3	社会医学・社会医学実習 / (病理学実習) ③講義棟				

4年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	4	臨床検査医学 ④基礎大	麻酔科学・緩和医療学Ⅱ ④基礎大		耳鼻咽喉・頭頸部外科学 ④基礎大	医学英語Ⅳ △PC室、④基礎大
火	4	周産期医学 ④基礎大	脳神経外科学 ④基礎大	整形外科Ⅱ ④基礎大	泌尿器科学 ④基礎大	放射線腫瘍学 ④基礎大
水	4	法医学 ④基礎大	症候学 ④基礎大	救急・災害医学 ④基礎大	形成外科学 ④基礎大	血液内科学Ⅰ ④基礎大
木	4	眼科学 ④基礎大		皮膚科学 ④基礎大	歯科口腔外科学 ④基礎大	小児外科学 ④基礎大
金	4			医療安全学 ④基礎大	臨床腫瘍学 ④基礎大	血液内科学Ⅱ ④基礎大

5年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
	5	臨床実習Ⅰ				

6年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
	6	臨床実習Ⅱ				

令和7年度 医学部医学科 授業時間割表〔1～6年次〕

[医学科校舎] ①基礎第1講義室 ②基礎第2講義室 ③講義棟
④基礎大講堂 △学生パソコン室

【後期】

1年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	1	生化学(講義1) ①基礎1	生化学(講義2) ①基礎1	医用システム工学概論 ①基礎1	医学英語Ⅰ ①基礎1 ④基礎大講堂	〔医学英語Ⅰ〕 ①基礎1 ④基礎大講堂
火	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
水	1	教養教育	教養教育	組織学・組織学実習 ①基礎1		
木	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育
金	1	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育	教養教育

2年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	2	(学士:生化学(講義1)) ①基礎1	(学士:生化学(講義2)) ①基礎1	神経科学 ・ 神経科学実習 ②基礎2		
火	2	薬理学 ②基礎2		医学英語Ⅱ ②基礎2	医用統計学(集中) ②基礎2 △学生パソコン室	
水	2	免疫学 ②基礎2	病理学 ②基礎2	(学士:組織学・組織学実習) ①基礎1		
木	2	被ばく医療学 ②基礎2	病理学 ②基礎2	微生物学 ・ 微生物学実習 ②基礎2		
金	2	微生物学 ・ 微生物学実習 ②基礎2		医用統計学(集中) ②基礎2		

3年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	3	呼吸器内科学・外科学Ⅱ ③講義棟	消化器内科学・外科学Ⅱ ③講義棟	循環器内科学・外科学Ⅱ ③講義棟	麻酔科学・緩和医療学Ⅰ ③講義棟	内分泌・代謝学Ⅰ ③講義棟
火	3	婦人科学 ③講義棟	腎臓内科学 ③講義棟	整形外科Ⅰ ③講義棟	内分泌・代謝学Ⅱ ③講義棟	放射線診断学 ③講義棟
水	3		医学英語Ⅲ	研究室研修		
木	3	臨床免疫学 ③講義棟	神経精神医学Ⅱ ③講義棟	研究室研修		
金	3	小児科学Ⅱ ③講義棟	神経内科学 ③講義棟	研究室研修		

4年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
月	4	PBL 学生支援センター1号棟		臨床実習入門(演習科目) ④基礎大講堂		
火	4	PBL	リハビリテーション医学 ④基礎大講堂	臨床実習入門(演習科目) ④基礎大講堂		
水	4		PBL	臨床実習入門(演習科目) ④基礎大講堂		
木	4	病理診断学 ④基礎大講堂	PBL	臨床実習入門(演習科目) ④基礎大講堂		
金	4	PBL 学生支援センター1号棟	PBL ④基礎大講堂	臨床実習入門(演習科目) ④基礎大講堂		臨床薬理・和漢薬学 ④基礎大講堂

5年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
	5	臨床実習Ⅰ				

6年次

		1・2 (8:40～10:10)	3・4 (10:20～11:50)	5・6 (12:40～14:10)	7・8 (14:20～15:50)	9・10 (16:00～17:30)
	6	総合教育演習Ⅱ / 総合教育演習Ⅲ(総合試験)				

各学年のアウトカム

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
I. プロフェッショナリズム	●医師としてのプロフェッショナリズムの本質を理解できる。 ●インフォームドコンセントについて説明できる。 ●医師の社会的責任を自覚し、将来医師になる者としての自らの立場の重要性を理解できる。 ●たゆまず自己研鑽し続けるプロフェッショナルとしての基本的姿勢を身につける。 ●他者を尊重し、常に良好なコミュニケーションを築くよう努めることができる。	●礼節（服装、態度、言葉遣い、行動）をわきまえている。	●個人情報保護の重要性を理解し、守秘義務を守ることができる。	●診療現場において適切な服装、態度、言葉遣い、行動をとることができる。 ●医師法を含む医療関連法規を理解し、順守できる。 ●医師のプロフェッショナリズム（社会的責任・自己研鑽・他者への配慮）を意識した医学知識・臨床技術の学習を通じ、臨床的判断力の醸成に努めることができる。	●患者・家族と信頼関係を築くことができる。 ●利益相反について理解し、職業上発生する利害に適切に対処できる。	●患者・家族の価値観や社会的背景に配慮し、対応できる。
科目名	臨床医学入門	解剖学実習	社会医学	法医学	臨床実習I	臨床実習II
	医の原則	神経科学実習	外科学概論	症候学		総合教育演習III
	基礎人体科学演習	地域医療入門	社会医学実習	医療安全学		
				臨床実習入門		
II. 医学的知識	●社会、文化、自然、生命に関する知識を有する。 ●人間・科学・医学の観点から倫理を理解する。 ●物質代謝や生命活動の基盤を説明できる。 ●各器官系の組織像を説明できる。	●人体の構造と機能について説明できる。 ●病原微生物と生体防御について説明できる。 ●基本的病態の発生機序を説明できる。	●主要な疾患の病理学的変化について説明できる。 ●薬力学、薬物動態について説明できる。 ●社会医学の意義とその実践方法を説明できる。 ●重要な疾患における疫学、症候、病因、病理、病態、診断、治療、予後に関する知識を説明できる。	●臨床的に重要な疾患における知識を包括的に理解し、基礎医学の知識と関連付けて説明できる。 ●法医学の知識を有し、社会的意義を説明できる。	●基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を医療・保健活動に応用することができる。	●保健・医療に関する課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境、人口動態の観点から説明できる。
科目名	教養教育	解剖学	薬理学	血液内科学	臨床実習I	臨床実習II
	医の原則	生理学	社会医学	周産期医学		総合教育演習II
	医用システム工学概論	免疫学	消化器内科学・外科学	臨床薬理・和漢薬学		総合教育演習III
	生化学	神経科学	循環器内科学・外科学	整形外科学		
	組織学	病理学	内分泌・代謝学	リハビリテーション医学		
		微生物学	感染症学	麻酔科学・緩和医療学		
		薬理学	臨床免疫学	放射線腫瘍学		
		被ばく医療学	神経精神医学	臨床腫瘍学		
			小児科学	皮膚科学		
			婦人科学	泌尿器科学		
			神経内科学	眼科学		
			腎臓内科学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学		
			麻酔科学・緩和医療学	脳神経外科学		
			放射線診断学	歯科口腔外科学		
				形成外科学		
				救急・災害医学		
				臨床検査医学		
				小児外科学		
				法医学		
				総合教育演習I		

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次
III. 問題対応能力	●教科書や論文、検索情報をもとに問題点を抽出できる。	●得られた情報を統合し、客観的・批判的に自分の考えを表現できる。	●適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	●患者のプロブレムを発見し、重要性・必要性を順位付けできる。 ●患者・家族、診療チーム・ケアスタッフの意見を尊重しながら、節度を持ってEBMの技術を用いることができる。	●患者のプロブレムを解決する具体的方法を発見し、課題を解決できる。	●患者のプロブレムに対して、指導医や他職種と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
科目名	地域学ゼミナール（教養教育） 組織学実習 基礎人体科学演習 臨床医学入門	医用統計学 解剖学実習 生理学実習 生化学実習 神経科学実習 微生物学実習	社会医学実習 病理学実習 薬理学実習 研究室研修	症候学 PBL 臨床検査医学 病理診断学 医療安全学 臨床実習入門 総合教育演習I	臨床実習I	臨床実習II 総合教育演習II 総合教育演習III
IV. 診察技能と患者ケア	●学生や教員を尊重し適切な行動をとることができる。	●医師の義務と裁量に関する基本的態度を説明できる。	●患者が心理・社会背景を含む多彩な問題を抱えていることが理解できる。	●病歴を適切に聴取することができる。 ●基本的な身体診察ができる。 ●臨床推論の重要性を理解できる。	●患者から情報収集を行い、臨床推論によって適切な鑑別診断が行える。	●重要な疾患の適切な治療計画を立てられる。 ●診療チームの一員として救急医療や慢性期医療に参画できる。
科目名	基礎ゼミナール 組織学実習 臨床医学入門 医学英語I	解剖学実習 神経科学実習 地域医療入門	神経精神医学 小児科学 婦人科学 麻酔科学・緩和医療学	医学英語IV PBL 症候学 救急・災害医学 臨床検査医学 病理診断学 臨床実習入門	臨床実習I	臨床実習II 総合教育演習III
V. コミュニケーション能力	●口頭・文書で自分の考えを人に伝えることができる。	●コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	●わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる。	●患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 ●患者・家族の精神的・身体的苦痛に配慮できる。	●患者の心理・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ●わかりやすい症例提示ができる。	●患者の心理・社会的背景を踏まえながら患者・家族と良好な関係を築き、意思決定を支援することができる。
科目名	基礎ゼミナール 医学英語I 組織学実習 臨床医学入門	医学英語II 解剖学実習 生理学実習 生化学実習 神経科学実習 微生物学実習	医学英語III 研究室研修	医学英語IV PBL 医療安全学 臨床実習入門	臨床実習I	臨床実習II 総合教育演習III
VI. チーム医療の実践	●グループ学習において自分の役割を理解できる。 ●協力・共同の価値を理解し、相手を尊重したコミュニケーションをとることができる。	●グループ学習においてリーダーとしての役割を果たす。	●多職種からなる診療チームの機能と連携を説明できる。	●自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 ●患者・家族への対応、チーム医療・多職種連携を行う際に重要となる自らの姿勢に気づくことができる。	●診療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。	●保健・医療・福祉・介護等、患者に関わる全ての領域の人々の役割を理解し、連携することができる。
科目名	地域学ゼミナール（教養教育） 基礎人体科学演習 臨床医学入門	解剖学実習 神経科学実習 生理学実習 生化学実習	社会医学 社会医学実習 外科学概論	リハビリテーション医学 PBL 臨床薬理・和漢薬学 医療安全学	臨床実習I	臨床実習II

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次
		微生物学実習		臨床実習入門		
VII. 医療の質と安全の管理	●医療上の事故について説明できる。	●医療関連感染症について説明できる。	●医療安全の基本的予防策を概説できる。	●医療上の事故等が発生したときの状況や緊急処置について報告することができる。	●医療上の事故等や医療関連感染症等に遭遇した際に、その対応方法に関する議論ができる。	●患者及び医療者にとって、良質で安全な医療を提供できる。
科目名	医の原則 医用システム工学概論	被ばく医療学 微生物学実習 微生物学	外科学概論 麻酔科学・緩和医療学	医療安全学 臨床検査医学 臨床実習入門	臨床実習I	臨床実習II 総合教育演習III
VIII. 社会における医療の実践と国際的視野	●地域が抱える課題を理解し、その解決方法に関する議論ができる。 ●自分と周囲の身近な人との関係性の中に「社会」の基本が存在することに気づき、社会を身近に実感することができる。	●かかりつけ医等の役割やプライマリ・ケアならびに地域医療の必要性を理解できる。	●地域医療に積極的に参加・貢献する姿勢を有する。	●英語により医学・医療に関する情報を入手し、発信できる。 ●患者背景へのアプローチや地域・社会の観察を行うための方法を通じ、他者と共感することができる。 ●自ら認識した地域・社会の課題への対応策を使命感・郷土愛に基づいて発案することができる。	●患者の文化的背景を理解し、多様性を尊重した医療を実践できる。	●医療人としての社会的役割を担い、地域とともに創造し、世界に向かって発信することができる。
科目名	地域学ゼミナール（教養教育） 臨床医学入門	地域医療入門 医学英語II	社会医学 社会医学実習 医学英語III 小児科学	医学英語IV PBL 法医学 臨床実習入門	臨床実習I	臨床実習II
IX. 科学的探究	●医学研究の必要性について理解できる。	●医学研究の社会的意義について説明できる。	●研究活動に参加し、研究発表や論文作成ができる。 ●研究倫理指針を理解し、遵守できる。	●基礎医学あるいは臨床医学の講義・実習で得た知識をもとに、疾患の病態解析ができる。	●患者や疾患の分析をもとに、最新の情報を検索・統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	●抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、問題解決に向けた研究活動に参加できる。
科目名	組織学実習 基礎人体科学演習	解剖学実習 神経科学実習 生化学実習 生理学実習 微生物学実習 医用統計学	研究室研修 医学英語III 社会医学実習 病理学実習 薬理学実習	PBL 臨床検査医学 病理診断学 臨床実習入門 総合教育演習I	臨床実習I	臨床実習II 総合教育演習II
X. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	●必要な情報を検索することができる。 ●進歩する医学に合わせ、自らも成長し続ける姿勢の重要性に気づくことができる。	●課題を解決するための方法について考えることができる。	●基礎・臨床医学の知識・技術を用い、研究活動に参加することができる。 ●臨床的知識や技術の修練に積極的に取り組むことができる。	●臨床的知識や技術の修練に積極的に取り組むことができる。 ●省察と他者との意見共有を重ねながら、謙虚な姿勢で学び続けることの価値を認識できる。	●臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にすることができる。	●医師としてのキャリアを継続させ、生涯にわたり自己研鑽を行う意欲を有する。
科目名	基礎ゼミナール 基礎人体科学演習 組織学実習 臨床医学入門	解剖学実習 生理学実習 生化学実習 神経科学実習 微生物学実習	研究室研修 社会医学実習 病理学実習 薬理学実習	PBL 医療安全学 臨床実習入門 総合教育演習I	臨床実習I	臨床実習II 総合教育演習II

【弘前大学医学部医学科の使命】

教育目的

学部は、高度な知識及び技術と科学的素養を身に付け、豊かな人間性をもって医学・医療に貢献する人材の育成を目的とする。

医学科における人材養成に関する目的及び教育研究上の目的は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者を養成する。
- (2) 常に進歩を続ける医学を効果的に教育するためのカリキュラムを整備し、具体的な到達目標を明示することによって、学生が自主的に学習できるような教育を行う。
- (3) 明確な目的意識と使命感を持った医師及び医学研究者を養成するために、学生が深く真理を探究し、人間性と社会性を高めることのできる教育を行う。
- (4) 国際水準の基礎的、かつ、応用的な医学研究を推進するとともに、高度で先端的な医療を地域社会と連携して実践する。

教育目標

・カリキュラム・ポリシー

医学科は、国際認証に相応しい医学教育に基づき、学生の知性ならびに人間性・社会性を育むカリキュラムを提供するという観点から、教育課程の編成・実施方針を次のように定めます。

1. 教育課程の編成・実施等

基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材を養成することを目指し、以下のような学習を実施します。

- 学生に国際認証に対応した医学的専門知識と技能を体系的に教授することで、医療・医学への洞察を深化させる力を養う。
- 専門基礎科目により、学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促す。これにより、高度先端医療や地域医療が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養う。
- 専門科目の演習・実習科目により、学生に高度先端医療や地域医療の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供する。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できる力を養う。
- 専門科目のコア科目により、学生に医学的専門知識と技能を医療・医学の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供する。これに加えて各専門領域の深い見識と医療倫理・医学倫理も、実践をとおして培う。
- 診療参加型実習(臨床実習Ⅰ・Ⅱ)を主体に、学生が医療現場の一員として充実した大学生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立させる。

2. 教育・学習方法

- (1) 授業科目のナンバリングを定めて年次配置を厳密に行うとともに、卒業までの履修期間の無理なくかつ効果的な学習を促す。卒業時に修得しておくべき能力（卒業時コンピテンシー）が実践できるように各学年のアウトカムを作成して、カリキュラムを構築する。
- (2) 主体的に学び続け、見通す力と解決する力を涵養する教育を行う。
- (3) 自ら課題を見出し、その解決に向けて探究を進め、成果を表現する実践的な能力を身に付けさせるため、学生が主体となる能動的な授業も取り入れる。

3. 学習成果の評価

- (1) 学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、GPAを用いて教育課程における学習到達度を客観的に評価する。
- (2) 知識、技能及び態度を組み合わせた多面的な評価により、学習成果を評価する。
- (3) 評価の方法には、総括的評価に加えて、各学年のアウトカムに対する形成的評価が含まれる。

・ディプロマ・ポリシー

医学科では、カリキュラム・ポリシーに基づいて編成された教育課程にそって医学的専門知識と技能を習得するとともに、人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担うために、求められる社会的役割を的確に果たすことができる三つの素養を身に付けたものに対して、学士（医学）の学位を授与します。

具体的には、次の目標に到達していることが学位授与の条件となります。

- 豊かな人間性と高度な医学の専門知識を身に付け、人間的・科学的観点から社会の要請を見通す力を身に付けていること。
- 広い視野と柔軟な思考力を基盤に、医療・医学の問題を解決していく実践的な力を身に付けていること。
- 専門性を生かした国際基準の基礎的かつ、応用的な医学・医療を常に学修し、生涯にわたり自らを成長させ続ける力を身に付けていること。



弘前大学医学部医学科 卒業時コンピテンシー

【令和元（2019）～令和5（2023）年度入学者】

弘前大学医学部医学科は卒業時に修得しておくべき能力（アウトカム）として卒業時コンピテンシー（10領域）及び卒業時コンピテンシー（66項目）を規定しています。

I. プロフェッショナリズム

人の命に関わり健康を守るという医師の職責を理解し、患者中心の医療を実践しながら、医師としての道を究めていくことができる。

1. 卓越した臨床能力と高い倫理性を基盤として、患者の利益を第一に追求し、公共の福祉に貢献することが医師の職責であることを理解できる。
2. 専門職にある者として適切な服装、態度、言葉遣い、行動をとることができる。
3. 豊かな教養と確固たる倫理観を身に付け、利他的かつ公正な態度で行動できる。
4. 診療現場において患者・家族と信頼関係を築くことができる。
5. 患者・家族の価値観や社会的背景に配慮し、対応できる。
6. インフォームドコンセントについて説明できる。
7. 個人情報保護の重要性を理解し、守秘義務を守ることができる。
8. 医師法を含む医療関連法規を理解し、順守できる。
9. 利益相反について理解し、職業上発生する利害に適切に対処できる。

II. 医学的知識

基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学、医療倫理に関する知識を修得し、それらを医療・保健活動に応用することができる。

1. 医学の基礎となる自然科学や倫理学に関する知識を有する。
2. 人体の構造と機能、生体防御、薬物動態について説明できる。
3. 生命の発生から成長、発達、加齢、死に至る過程を説明できる。
4. 人間の心理と行動について説明できる。
5. 基礎医学の知識を疾患の病因、病態、症候の理解に応用できる。
6. 重要な疾患について、疫学、症候、病因、病理、病態、治療法、予後に関する知識を有し、診療に応用できる。
7. 社会医学・法医学の知識を医療・保健活動に応用できる。
8. 保健・医療に関する課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境、人口動態などの観点から説明できる。

III. 問題対応能力

根拠に基づいた医療(evidence-based medicine <EBM>)を基盤に、経験も踏まえながら、幅広い症候・病態・疾患に対応できる。

1. 患者のプロブレムを発見し、重要性・必要性に照らして順位付けできる。
2. 患者のプロブレムの解決方法を見出し、課題を解決できる。
3. 患者のプロブレムに対して、指導医や他職種と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
4. 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
5. 患者のプロブレムに関する国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。
6. 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
7. 臨床経験を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。
8. 同僚や後輩に対して適切な助言や指導ができる。

IV. 診察技能と患者ケア

臨床技能を磨くとともにそれらを用い、患者の苦痛や不安感に配慮しながら、診療を実践できる。

1. 病歴を適切に聴取し、系統的かつ効率的な身体診察を行い、異常所見を見出し、臨床推論によって適切な鑑別診断が行える。
2. 診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。
3. 重要な疾患の適切な治療計画を立てられる。
4. 診療録についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record <POMR>)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。
5. 患者の病状(症状、身体所見、検査所見等)、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、診療チームの構成員と意見交換をすることができる。
6. 緊急を要する病態や疾患に関する知識を有し、診療チームの一員として救急医療に参画できる。
7. 慢性疾患や慢性疼痛の病態、経過、治療に関する知識を有し、医療を提供する場や制度に応じて、診療チームの一員として慢性期医療に参画できる。
8. 患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護などの両立支援を含め患者・家族に対し誠実で適切な支援を行える。
9. 患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。

V. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえながら患者・家族と良好な関係を築き、意思決定を支援することができる。

1. コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
2. 患者・家族の話に傾聴し、共感することができる。
3. 患者・家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。
4. 患者に分かりやすい言葉で説明できる。
5. 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。
6. 患者のプライバシーに配慮できる。
7. 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。

VI. チーム医療の実践

保健・医療・福祉・介護等、患者に関わる全ての領域の人々の役割を理解し、連携することができる。

1. 診療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制について説明できる。
2. 多職種からなる診療チームの一員として参加できる。
3. 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。

VII. 医療の質と安全管理

患者及び医療者にとって、良質で安全な医療を提供できる。

1. 医療上の事故等(インシデントを含む)に遭遇した際に、その対応方法に関する議論ができる。
2. 医療関連感染症(院内感染を含む)の原因及び回避する方法を概説できる。
3. 医療上の事故等(インシデントを含む)が発生したときの状況や緊急処置について報告することができる。
4. 医療安全の基本的予防策を概説し、指導医の指導の下に実践できる。
5. 標準予防策(standard precautions)の必要性を説明し、実行できる。

VIII. 社会における医療の実践と国際的視野

医療人として求められる社会的役割を担い、地域とともに創造し、世界に向かって発信することができる。

1. 地域が抱える課題を理解し、その解決方法に関する議論ができる。
2. かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得できる。
3. 地域医療や災害医療に積極的に参加できる。
4. 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。
5. 患者の文化的背景を理解し、多様性を尊重した医療を実践することができる。
6. 英語により医学・医療に関する情報を入手し、発信できる。
7. 世界における疾病の動向や医療・保健問題のトピックスについて説明できる。
8. 社会福祉制度、社会保障制度、保険医療制度、医療経済について理解できる。

IX. 科学的探究

医学・医療の発展のための医学研究の必要性を理解し、批判的思考も身に付けながら、学術・研究活動に参画することができる。

1. 基礎医学の講義・実習で得た知識をもとに、診療で経験した病態の解析ができる。
2. 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。
3. 抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、問題解決に向けた研究活動(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に参加できる。
4. 指導者の下で研究活動に参加し、研究発表や論文作成を行うことができる。
5. 生命倫理・研究倫理・臨床倫理に配慮した研究活動について理解できる。

X. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。

1. 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。
2. キャリア開発能力を獲得する。
3. キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解できる。
4. 臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にすることができる。



弘前大学医学部医学科 卒業時コンピテンシー

【令和6年（2024）年度以降入学者】

弘前大学医学部医学科は卒業時に修得しておくべき能力（アウトカム）として卒業時コンピテンシー（10領域）及び卒業時コンピテンシー（59項目）を規定しています。

PR: プロフェッショナリズム(Professionalism)

人の命と健康を守るという医師の職責を理解し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたり、医師としての道を究めていくことができる。

1. 卓越した臨床能力と高い倫理感を持ち、患者の利益を第一に追求し、公共の福祉に貢献することが医師の職責であることを理解できる。
2. 医療職として適切な服装、態度、言葉遣い、行動をとることができる。
3. 豊かな教養を持ち、誠実かつ思いやりを持つ行動できる。
4. 医師と患者・家族の信頼関係を築き、社会から信頼される医師を目指すことができる。
5. 患者・家族の価値観や社会的背景に配慮し、対応できる。
6. 患者情報の重要性を理解し、守秘義務を遵守できる
7. 医師法を含む医療関連法規を理解し、遵守できる。
8. 利益相反について理解し、職業上発生する利害に適切に対処できる。

GE: 総合的に患者・生活者をみる姿勢(Generalism)

患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現することができる。

1. 全人的な視点とアプローチにて専門領域にとどまらない姿勢で臨床実践に関与できる。
2. 地域の実情に応じた医療・保健・福祉・介護の現状と課題を理解し、プライマリ・ケアの実践、ヘルスケアシステムの質の向上に貢献できる。
3. ライフサイクル（胎児期～終末期）の視点で患者・家族・生活者に起こり得る精神・社会・医学的な問題に関与できる。
4. 文化的・社会的文脈のなかで生成される健康観や人々の言動・関係性を理解し、文化人類学・社会学の視点から臨床実践ができる。

LL: 生涯にわたって共に学ぶ姿勢(Lifelong Learning)

安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたり自律的に学び、積極的に教育に携わることができる。

1. 生涯学習続ける価値観を持ち、学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
2. 自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築できる。
3. 医学知識が常に変化することを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
4. 医師・医学生に限らず、同僚や後輩を含む医療者への教育に貢献できる。

RE: 科学的探究(Research)

医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造することができる。

1. リサーチマインドを涵養し、研究のオリジナリティの重要性を認識できる。
2. 医療の実践が基礎・臨床・社会医学の研究に基づいていることを理解できる。
3. 医学論文（英語）を読んで概要を理解できる。
4. 自身の関心を「問い」とし、研究案を作り、データを適切に管理できる。
5. 自身の研究を論文や学会発表等の形にまとめ、わかり易くプレゼンテーションでき、他の研究者の発表に対して質問や意見を述べることができる。
6. 捏造、改ざん、盗用等を含め研究不正の類型を説明することができ、研究不正を行わず、適切に研究を遂行できる。

PS: 専門知識に基づいた問題解決能力(Problem Solving)

専門知識を身に付け、根拠に基づいた医療(Evidence-based medicine(EBM))を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決することができる。

1. 基礎医学として、生命現象の科学、個体の構成、機能、反応、病因と病態について理解できる。
2. 各器官の正常構造と機能を理解し、疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療の知識を臨床的に使用できる。
3. 器官横断的で全身に及ぶ生理的变化を理解し、主な疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療の知識を臨床的に使用できる。

IT: 情報・科学技術を活かす能力(Information Technology)

発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践することができる。

1. 情報・科学技術を医療に活用することの重要性と社会的意義を理解できる。
2. 情報・科学技術に関連する規制（法律、ガイドライン等）の概要を理解できる。
3. 電子カルテ等の医療情報の管理・保管の原則を理解し、関連する法律、倫理基準、個人情報保護のための規定等を遵守できる。
4. ソーシャルメディア（インターネット、SNS 等）の利用において、医療者として相応しい情報発信の在り方を理解し、実践できる。
5. 情報・科学技術を理解し、自身の学修や医療へ適応する姿勢を体得できる。
6. 診療、学修に有効なICT技術やデジタルコミュニケーションスキルを修得できる。

CS: 患者ケアのための診療技能(Clinical Skills)

患者の苦痛や不安感に配慮し、確実に信頼される診療技能を磨きながら、患者中心の診療を実践することができる。

1. 医療面接における基本的コミュニケーション技法を用い、病歴を適切に聴取し、情報を取捨選択し、整理できる。
2. 全ての情報を統合しながら問題志向型医療記録を作成し、臨床推論を行うことができる。
3. 診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。
4. 専門的診療が必要かどうかを考慮し、治療計画を立案できる。
5. 代表的な疾患における患者指導の教育計画を立案できる。
6. 患者・家族、医療スタッフと連携し、検査手技、治療手技、救急・初期対応、書類作成の下書きを作成し、治療カンファレンスに報告できる。
7. 実施された医療は省察し、各種カンファレンスにて説明できる。
8. 医療を改善する重要性を理解し、繰り返し評価することができる。
9. 医療従事者に求められる健康管理、職業感染対策を実践できる。
10. 患者安全のための管理体制や感染症に関連した役割を理解し対処できる。
11. 診療録の重要性を理解し、適切に記載し、取り扱うことができる。
12. インシデントが発生した際に、緊急対応や記録、報告ができる。

CM: コミュニケーション能力(Communication)

患者及び患者に関わる人々と、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践することができる。

1. 患者のプライバシーに配慮できる。
2. 言語的コミュニケーションにて、良好な人間関係を築くことができる。
3. 非言語的コミュニケーション（身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等）を意識できる。
4. 患者や家族の話を傾聴し、精神的・身体的・社会的苦痛に十分配慮しながら、敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。
5. 患者や家族の多様性（高齢者、小児、障害者、LGBTQ、国籍、人種、文化・言語・慣習の違い等）に配慮してコミュニケーションをとり、分かりやすい言葉で説明できる。
6. 患者の心理的及び社会的背景を捉え、問題点を抽出・整理できる。
7. 医療の不確実性を理解した上で適切な行動や態度をとることができる。

IP: 多職種連携能力(Interprofessional Collaboration)

医療・保健・福祉・介護等、患者・家族に関わる全ての人々と良好な関係を築き、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。

1. 患者・利用者・家族に関連する情報について、多職種及び他の医療系学部の実生と共有できる。
2. 適切な診断・検査・治療のために、適切な施設・専門科・医師へ紹介できる。
3. 自他の役割や思考・行為・感情・価値観を踏まえ、協働する職種で信頼関係を構築し、自分の役割を全うできる。

SO: 社会における医療の役割の理解(Medicine in Society)

医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野等も持ちながら、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努めることができる。

1. 地域保健、産業保健、健康危機管理を理解できる。
2. 疫学と主な研究デザインを学び、医学・生物学の統計手法を理解できる。
3. 死の判定を理解し、死亡診断書・検案書を作成し、病理解剖、法医学解剖について理解できる。
4. 健康に関する問題について、多様性を尊重し、積極的に行動できる。
5. グローバルヘルスの役割や医療体制について概要を理解できる。
6. 健康観や人びとの言動・関係性を理解し、医療人類学・医療社会学の視点から臨床実践ができる。

2025年2月19日 医学科会議承認

弘前大学医学部（医学科）専門教育科目試験申合せ

令和 7 年 3 月 19 日
医 学 科 会 議 承 認

1. 受験資格

試験を受けることのできる者は、所定の履修手続を行い、かつ、当該授業科目の各学期の授業時間数の 3 分の 2 以上を出席した者とする。

2. 試験科目

試験は、弘前大学医学部規程（平成 16 年規程第 101 号。以下「規程」という。）別表第 1 に掲げる授業科目について行う。臨床実習については、関係講座が一定の単位を分担し、それぞれ独立した授業科目とみなして試験を行う。

3. 試験の時期

- (1) 授業が一つの学期で終了する場合は、当該学期末に試験を実施する。
- (2) 授業が複数の学期にまたがって行われる場合は、原則として各学期末に試験を実施する。
- (3) その他必要に応じて、中間試験を実施することがある。

4. 試験の方法

試験は、筆記、口頭、レポート又は実技により行う。

5. 試験成績の評価

- (1) 試験の成績は、秀（100～90）、優（89～80）、良（79～70）、可（69～60）、不可（59 以下）とし、不可は不合格とする。
- (2) 科目が複数の小科目で構成され、試験をそれぞれ実施する場合、各小科目の評価が 60 点以上でなければ、当該科目は合格としない。

6. 追試験

- (1) やむを得ない事情により試験を欠席した場合は、追試験願に病気又は事故等を証明する書類を添えて当該授業科目試験終了後 7 日以内に学部長に届け出なければならない。
- (2) 前号の届出があった場合は、教授会の議を経て追試験を行うことがある。

7. 再試験

- (1) 当該授業科目担当代表教員は、再試験を行うことがある。
- (2) 再試験は、原則 1 回とする。

8. 進級

- (1) 規程別表第 1 の各年次に配当されている授業科目をすべて履修し、試験に合格しなければ進級することはできない。
- (2) 前号にかかわらず、第 2 年次、第 3 年次及び第 4 年次への進級に際しては、不合格科目 1 科目の場合に限り、進級させることがある（仮進級）。ただし、演習・実習科目をすべて合格していなければ進級できない。
- (3) 1 科目であっても、出席回数不足もしくは試験未受験の場合は、進級することはできない。
- (4) 第 5 年次から始まる臨床実習の履修に際しては、第 2 号にかかわらず第 4 年次後期までに配当されているすべての授業科目の単位を修得していなければならない。

9. 留級した場合の再履修

留級した場合には、当該学年に配当されている授業科目をすべて再履修の上、試験に合格しなければ

ならない。ただし、教養教育科目、専門教育科目の専門基礎科目、演習・実習科目（6年次配当科目の臨床実習Ⅱを除く）で、すでに単位修得した科目についてはこの限りではない。

10. 仮進級した場合の不合格科目の取扱い

仮進級となった場合には、不合格になった授業科目について、試験を受け、それに合格しなければならない。試験の時期や実施方法については、授業科目担当代表教員が定める。

11. その他

4年次「総合教育演習Ⅰ」(CBT/PreCC/臨床実習前 OSCE)については、受講前に留級が見込まれる場合には、履修（受験）できない。

附 則

この申合せは、平成7年4月1日から施行し、平成7年度入学者から適用する。

附 則

この申合せは、平成13年4月18日から施行する。

附 則

この申合せは、平成14年4月1日から施行する。

附 記

この申合せは、平成21年4月1日から実施する。

附 記

この申合せは、平成22年10月1日から実施する。

附 記

この申合せは、平成25年4月1日から実施する。

附 記

この申合せは、平成26年4月1日から実施する。

附 記

この申合せは、平成28年4月1日から実施する。

附 記

この申合せは、平成30年4月1日から実施する。

附 記

この申合せは、平成31年4月1日から実施する。

附 記

この申合せは、令和5年4月1日から実施する。

附 記

この申合せは、令和6年1月1日から実施する。

附 記

この申合せは、令和7年4月1日から実施する。

アンプロフェッショナルな学生の定義について

令和7年2月19日 医学科会議承認

以下をアンプロフェッショナルな学生の定義とする。

医療安全・医療倫理の面から、このままでは将来、患者の診療に関わらせることができないと考えられる学生

1. アンプロフェッショナルな学生の報告の趣旨

令和4年11月18日公表された医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版では、「臨床実習の学修目標には、知識や臨床推論、臨床判断等だけではなく、診察や基本的臨床手技等の技能、医師のプロフェッショナリズム等の態度も含まれる。」ことが明記されており、態度評価を本学医学部医学科においても体系的な仕組みを構築し、実施する必要がある。とくに、同改訂版では、「医師として生涯にわたって研鑽していくことが求められる資質・能力としてプロフェッショナリズムが挙げられているが、特に臨床実習におけるアンプロフェッショナル(以下、「アンプロ」という。)な行動が問題となることがある。アンプロな行動とは医師として望ましい行動に反するだけでなく、患者安全のアウトカムにも影響しうることが示されており、またその後の研修以降のキャリアでも同じような問題を起こす可能性も指摘されている。プロフェッショナリズムについて低学年から学び身につけていく必要があるが、特に臨床実習では对患者、対多職種スタッフのみならず、教員や学生間も含めた観察可能な発言や行動について評価すべきである。」とされている。

近年、医学生として相応しくない言動をする学生の増加が全国的に問題となっており、本学医学部医学科においても例外ではない。本学医学部医学科においても、患者安全の観点から早急に教員、学生間でのアンプロな行動について具体的な行動を定義し共有するとともに、全学年における学生生活全般に亘り、学生の発言・行動を広く観察し、このままでは将来、医師として診療に従事させることができないと考えられる学生の情報を、学生指導・教育に携わる者が共有することが必要である。本取扱要領は、客観的な情報の収集と指導体制を構築することにより、当該学生の社会性や倫理性に関して再教育を行い、医学生として相応しい行動を取ることができるように改善を図ることを目的とする。

2. アンプロフェッショナルな学生の定義

本学医学部医学科ではアンプロフェッショナルな学生とは、「医療安全・医療倫理の面から、このままでは将来、患者の診療に関わらせることができないと考えられる学生」と定義する(令和7年2月19日医学科会議制定)。なお、これらは、観察、評価可能な発言や行動であり、価値観や性格等ではないことに注意する。

具体的なアンプロフェッショナルな発言や行動を以下の通り、例示する。

- 関わり(Involvement)における不足：遅刻や欠席、締め切りの不遵守、主体性がない、手抜きをする、チームワークがないなど。

● 誠実さ (Integrity) の不足：不正行為、嘘をつく、盗用、データの捏造や改竄、詐欺、規則の不遵守など。

● 相互関係 (Interaction) における不足：拙いコミュニケーション、ソーシャルメディアや個人情報の不適切な取り扱い、迷惑行為、プライバシーおよび守秘義務の侵害、いじめ/差別的行為、セクハラなど。

● 内省 (Introspection) の不足：フィードバックを避ける、自分の行動に対する洞察力がない、他者のニーズに敏感ではない、責任転嫁、フィードバックを受け入れないなど、が挙げられる。

また、重複するがアンプロフェッショナルな発言や行動を下記にも例示する。

● 不適切な態度・行動の繰り返し：活動に参加しない、トレーニングに参加しない、臨床現場での学習に参加しない、事務手続き (Administrative tasks) を無視する、時間管理ができない、無断で欠席する、教育上のアドバイスを受け入れない、患者や同僚などへの継続する無礼、他者からの建設的なフィードバックから学ぶことができない、学習環境や臨床実習の場を混乱させる、臨床教員への挑戦的行動や臨床教員からの批判を受け入れない、反応しなければならない連絡を無視する。

以下については、懲戒案件に該当する可能性があるため、「3. アンプロフェッショナルな行為に対する報告レベル」におけるレベル3として対応する。

● 良い医療行為を示すことができない：ソーシャルメディアの悪用、守秘義務の不履行、ケアや治療について故意に患者に間違ったことを伝える、患者からの同意を得ないことが不適切であることを知りながらそれに関与すること、性的、人種的およびその他のハラスメント、不適切な診察や一線を越えた行動、不法な差別など。

● 薬物またはアルコールの誤用：飲酒運転、処方薬の乱用、飲酒により臨床業務、職場環境や教育環境を乱す、違法薬物の使用、不適切な過度の飲酒など。

● 不正行為または剽窃：試験でのカンニング、授業での代返・他者がした活動を自分がしたと偽ること、自分が受けた試験の内容を他の学生に伝える、評価表での指導医のサインの捏造や、試験における不正行為など。

● 職務上の役割以外の不正行為または詐欺：研究でのデータ捏造・改竄、金銭的詐欺、経歴詐称、書類偽造・資格詐称など。

● 攻撃的な暴力や脅し：暴行、身体的暴力、いじめ、ハラスメント、ストーカー、オンラインでのいじめやトロリングなど。

● その他の不適切行動または犯罪：違法薬物の所持・取扱い・提供、盗難、身体的暴力、無賃乗車、金融詐欺、児童ポルノ、児童虐待またはその他の虐待、性的犯罪など。

3. アンプロフェッショナルな行為に対する報告レベル

●レベル1：アンプロ行為を初めて見かけた。

当該学生に対し、適切なフィードバックを行う。調査後、アンプロと判定されない可能性がある。

●レベル2：アンプロ行為のフィードバック後、同様の行為が繰り返される。

アンプロ行為の可能性がある、調査する必要がある。

●レベル3：法律違反・懲戒レベル

即刻、「弘前大学学生の懲戒等に関する規程」に基づき、学生の懲戒を所掌する委員会等
で対応する必要があるため、所定の報告書様式にかかわらず、ただちに学務グループに報
告すること。

4. アンプロフェッショナルな学生に対する対処方法

●レベル1 及び2への対処

①教員による観察・評価

1) 関係教員等は2で示される定義に基づき、観察・評価を行う。アンプロと思われる
行動については、適切にフィードバックを行う。その際に一方的なフィードバックにせ
ず、状況を確認する必要がある。

2) フィードバックを行った学生について、アンプロな行動が改善するか引き続き観
察・評価を行う。他の科目・診療科等へも情報の共有・引継ぎを行う。

②報告・調査

3) 関係教員等は、アンプロと思われる行動について所定の様式により学務グループに
報告する。報告の際に、直接自身で観察した情報と間接的に得た情報を区別する。なお、
本報告は、講義や各演習・実習等（早期臨床体験実習、研究室研修、臨床実習Ⅰ・Ⅱ等）
での知識や技能の評価とともに態度評価の一つとして6年間一貫して管理を行う。な
お、報告書の内容によっては、懲戒処分の対象と成り得る（レベル3）。

4) 必要に応じて調査委員会を立ち上げて調査し、指導方針・再教育（講義や実習を継
続させるのか、再履修とするべきか）について検討する。成績評価に反映させる場合は、
妥当性について授業担当教員と協議の上、慎重に取り扱う。学務委員会に上申し審議す
る。

5) 調査委員会の構成員は医学部長が指名する。

③指導・再教育

6) 指導・再教育の際には、学務委員会で該当学生について精神疾患や発達障害、メン
タルの不調、またその背景としての人間関係や家族の問題等についても配慮し、指導教
員と連携し、適切なサポートが得られるようにする。特に繰り返し報告された場合や重
大な案件では保護者等との情報共有を行う。

④改善状況の観察・再評価

7) 指導・再教育による改善状況やメンタリングやカウンセリング等について、定

期的に調査委員会で再評価を行い、学務委員会に報告する。

●レベル3 への対処

本取扱要領にかかわらず、「弘前大学学生の懲戒等に関する規程」に基づき対処する。

5. 報告者

報告者は、指導教員、科目責任者、授業担当者、実習担当者、サークル顧問等をはじめとした学生教育・指導に携わる全教職員（医師、看護師、薬剤師、技師、事務職員等）、学生および患者とする。なお、学生教育・指導に携わる全教職員には関連実習施設の全職員も含むこととする。

また、報告者の個人情報を適切に保護し、報告内容等が不必要に漏洩しないよう最大限の配慮を行うこととする。

6. 報告書の提出先及び情報共有について

所定の様式に記載の上、学務グループへ提出する。なお、報告された事例については、個人情報に配慮した上で、調査委員会で定期的に検討する。

また、報告書及び事例に関する情報は、学務グループにおいて厳重に管理する。

なお、レベル3（学生懲戒規程に基づき処理した案件等）に関する情報の取扱はこの限りではない。

アンプロフェッショナルな行為に関する報告書

報告書提出日 年 月 日

学生の氏名

アンプロフェッショナルな行為と思われる学生の具体的な態度や行動の内容
(記入スペースが不足する場合は、別紙に記入しても結構です。)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

報告者所属

報告者氏名

【提出先】 医学研究科 学務グループ

TEL : 0172-39-5204

E-Mail : jm5204@hirosaki-u.ac.jp

試験実施における不正行為の取扱いに関わるガイドライン

平成 24 年 5 月 30 日教育委員会決定

平成 26 年 1 月 29 日教育委員会一部改正

平成 28 年 4 月 1 日教育委員会一部改正

平成 30 年 4 月 25 日教育委員会一部改正

1 目 的

弘前大学学生の懲戒等に関する規程第 2 条第 1 項に定められた不正行為を未然に防止するため、不正行為の取扱いに関わるガイドラインを示すものである。

2 不正行為

次のことをすると不正行為とみなす。

- a) 受験科目の内容を記入した物品を使用又は身の回りに所持する。
- b) 教科書・参考書・ノート・プリントを使用又は身の回りに所持する（事前に許可されているものを除く）。
- c) 携帯電話・スマートフォン・電子辞書・電卓等の電子機器類を使用又は身の回りに所持する（事前に許可されているものを除く）。
- d) 他の学生答案を見る。
- e) 他の学生に答えを教える、周囲の学生に見えるように答案や姿勢をずらす。
- f) 本人以外の者が受験する。
- g) その他、上記に準ずる行為及び成績評価や試験実施に支障が生ずる行為。

3 試験監督者による試験開始前の事前注意

試験開始前に以下の内容を口頭又は紙面で指示する。

- a) 事前に許可されているものを除き、筆記用具（その他解答に必要な器具）、時計（アラームを切る）、学生証以外は机の上に置かない。
- b) 教科書・参考書・ノート・プリント等は机の中、椅子の上に置かず、全てカバン等にしまい、椅子の下に置く。
- c) 携帯電話・スマートフォン・電子辞書・電卓等の電子機器類は全て電源を切り、カバン等にしまい、椅子の下に置く。ポケットなど衣服にはしまわない。
- d) 不正行為に対しては厳正に対処するので、不正行為と疑われる不審な挙動はしない。

4 試験中の不正行為への対応

不正行為又はその疑義がある場合は、原則として次のように対応する。

a) 物的証拠がある場合：

不正行為を行っていることを確認した場合は、別紙 2 の「不正行為通告書」を提示して受験を直ちに切りやめさせ、答案を回収し、証拠物件を取り上げた上で試験終了までその場で待機させる。試験監督者は、試験終了後、当該受験者を教務課又は各学部等教務の部屋に移動させ、各部局の学務委員会等委員長等同席のもと、不正行為の態様、時間等の事実確認を行い、書面に署名させる。

b) 物的証拠がない場合：

別紙 1 の「注意書」を提示して警告を与え、以後の行動に注意する。

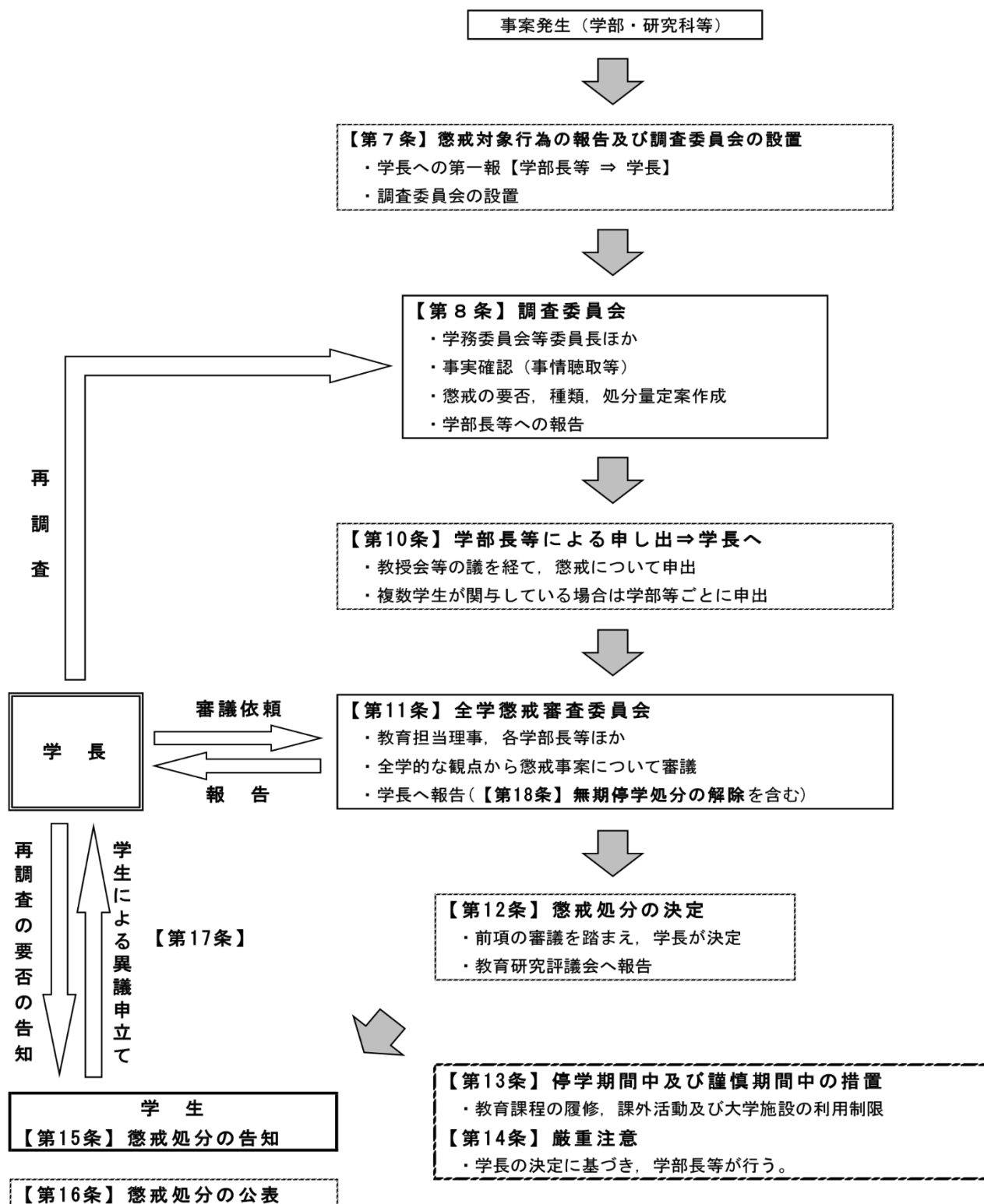
ただし、不正行為（他の学生答案を覗く等）が明白に確認された場合は、上記 a) の対応に準ずる。

5 不正行為の報告等

不正行為が確認された場合、学務委員会等委員長等は、速やかに学部長等（教養教育科目においては、学部長等に加え、教養教育開発実践センター長）に報告する。

以降の対応は、以下のフローによる。

○弘前大学学生の懲戒処分に関するフロー



6 学生への周知

毎学期始めに、上記2の内容について、教養教育及び各学部等の学生掲示板に掲示する。

また、各学期の試験期間には試験室（講義室）入口・黒板等にも掲示するなど、周知徹底を図る。

事務手続き等について

1. 授業料減免

経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ学業成績が優秀と認められた学生については、前期、後期の学期ごとに選考のうえ、その学期に納入すべき授業料が減免されます。

減免を願い出ようとする学生は、学期ごとの指定する期間内に、所定の書類を提出してください。申請には要件があります。

なお、必要書類の配付及び出願期間等については、その都度、掲示で案内します。

2. 奨学金

経済的理由により、授業料などの支払いが困難な学生を、経済的に援助する制度として、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間育英奨学団体の奨学金があります。

これらの奨学金は、いずれも学業・人物ともに優秀でかつ健康である学生に貸与されます。

なお、これらの奨学金制度には、貸与を受けることのできる学生数に一定の制限があるため、必ずしも希望者全員が採用されるものではありません。

奨学金の貸与を希望する学生は、指定された期間内に必要書類を提出してください。必要書類の配付及び出願期間等については、掲示で案内します。

3. 各種願出及び届出

(1) 修学上関係

提出書類	摘 要
住 所 届	年度始めの学年ガイダンスで配布、回収します。
改 姓 届	変更があったとき速やかに届け出てください。 戸籍抄本も提出をお願いいたします。
公欠届（感染症）	インフルエンザに罹患または新型コロナウイルスに感染した場合、「学校保健安全法」に基づき出席停止の措置を取る必要があります。すみやかに学務グループまで届け出ていただき、下記の期間を経過するまでは通学はせず、医療機関を受診するなどして、しっかり療養してください。 なお、出席停止期間が終了次第、左記の届を提出することで、公欠扱いとしています。 ○インフルエンザに罹患した学生は、「発症翌日から数えて5日間が経過し、かつ解熱後2日間」は「出席停止」となります。 ○新型コロナウイルスに感染した学生は、「発症翌日から数えて5日間が経過し、かつ症状軽快後1日間」は「出席停止」となります。
公欠届（忌引き）	親族の死亡に伴い必要と認められる行事のため、授業に出席できない場合は、届け出により忌引き（公欠）とします。原則として事前にその旨を授業担当教員へ連絡するものとします。 ・親族の範囲：①配偶者、1親等（父母・子）の親族 ②2親等（祖父母・兄弟姉妹等）の親族 ※①②ともに配偶者の親族を含みます。 ・忌引きとなる期間：①休日を含む連続7日の範囲内 ②休日を含む連続3日の範囲内 ※葬儀等のため遠隔地に赴く場合は、往復に要する日数を加えた日数とします。 ・届出：葬儀等の行事を終えた後、速やかに学務グループへ会葬礼状とともに提出してください。 ・授業の取扱い：欠席とはせずに公欠扱いとします。

公欠届 (その他事由)	・裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合 ・検察審査会の審査員又は補充員に選任された場合 ・骨髄移植のために骨髄液等の提供を行う場合 ・その他学長が必要と認める場合 については、別途学務グループ窓口にてご相談ください。 また、対象となるかどうかについては、以下のサイトを確認すること。 (弘前大学教育情報 公欠について) https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/campus/absence.html
欠席届	前述の届のほか、やむを得ない理由により欠席しなくてはならない場合に届け出てください。なお、届出の前に授業担当教員への連絡を行うこととします。(届出が出されても、取扱いとしては欠席となります)
追試験願	やむを得ない事情により試験を欠席した場合は、病気・事故等を証明する書類を添えて、当該試験終了後7日以内に届け出てください。届け出があった場合は、教授会の議を経て追試験を行うことがあります。
休学願	やむを得ない理由により、引き続き3か月以上出席することができないときに願い出てください。届け出る休学の期間は1年以内とします。
休学期間延長願	特別の事情により引き続き休学の期間を延長したい場合に願い出てください。
復学願	休学期間途中で復学しようとするときに願い出てください。
退学願	やむを得ない事情により退学しようとするときに願い出てください。
海外渡航届	留学や観光等のために海外渡航の計画がある場合は、出国の5日前までに届け出てください。なお、外務省海外旅行登録「たびレジ」にも登録してください。

(2) 授業関係

提出書類等	摘 要
履修科目の変更	教養教育等において、別途掲示で案内します。
成績通知	期日については、別途掲示で案内します。

4. 諸証明書等

証明書類等	摘 要
在学証明書	自動発行機で発行します。 ※ただし、健康診断証明書は、以下に該当する方を除く。 ・当該年度の健康診断を受けていない。 ・検査項目（WEB問診含む）が不足している。 ・再検査項目があるが、再検査をしていない。
学割証	
卒業見込証明書	
通学証明書	
健康診断証明書	
成績証明書	必要とする7日前までに、窓口に着いてある証明書交付願に必要事項を記入し願い出てください。
学生証再交付	

※英文証明書の場合は、発行までに10日程度の日数がかかるため、余裕を持って申し込みください。

5. その他

(1) 窓口受付期間

月曜日から金曜日まで（休日・祝祭日を除く）
8：30～17：00

(2) 一般的連絡

学生に対する種々の連絡・通知は、掲示によって行います。

この掲示による連絡・通知は、修学、福利厚生、課外教育等学生生活上非常に大切ですので、見落としのないように、毎日必ず見るように気をつけてください。

(3) 個人への連絡

個人への連絡事項について、「住所届」で届け出されている携帯電話、メールアドレス等に直接連絡することもありますので、電話番号等が変更になった場合は速やかに申し出願います。

ただし、届け出の住所・電話番号等は、いかなる照会であっても外部に公表することはありません。

医学部医学科学務グループ（電話番号 0172-39-5204）

授 業 科 目 一 覧

【2014 年度～2018 年度入学者】

授業科目					単 位	年次別単位数												備考
						1		2		3		4		5		6		
						前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	医学英語Ⅰ				1		1											
	医学英語Ⅱ				1				1							○		
	医学英語Ⅲ				1					1						○		
	医学英語Ⅳ				1						1					○		
	医用統計学				1			1								○		
	被ばく医療学				1				1							○		
	計				6		1	1	2		1	1						
専門科目	コ	医の原則			1	1												
		医用システム工学概論			1			1									○	
		地域医療入門			1			1									○	
		解剖学			4			4									○	
		生理学			2			2									○	
		生化学			2			2									○	
		免疫学			1				1								○	
		組織学			1				1								○	
		神経科学			1				1								○	
		薬理学			3				2	1							○	
		病理学			3				2	1							○	
		微生物学			3				3								○	
		社会医学			2					2							○	
		外科学概論			1					1							○	
		消化器内科学・外科学Ⅰ			2					2							○	
		消化器内科学・外科学Ⅱ			1						1						○	
		ア	循環器内科学・外科学Ⅰ			2					2							○
	循環器内科学・外科学Ⅱ			1						1						○		
	内分泌・代謝学Ⅰ			2					1	1						○		
	内分泌・代謝学Ⅱ			1						1						○		
	血液内科学Ⅰ			1							1					○		
	血液内科学Ⅱ			1							1					○		
	呼吸器内科学・外科学Ⅰ			1					1							○		
	呼吸器内科学・外科学Ⅱ			1						1						○		
	感染症学			1					1							○		
	臨床免疫学			1						1						○		
	神経精神医学Ⅰ			1					1							○		
	神経精神医学Ⅱ			1						1						○		
	小児科学Ⅰ			1					1							○		
	小児科学Ⅱ			1						1						○		
	婦人科学			1						1						○		
	周産期医学			1							1					○		
	目		神経内科学			1						1						○
		腎臓内科学			1						1						○	
		症候学			1							1					○	
		整形外科学Ⅰ			1						1						○	
		整形外科学Ⅱ			1							1					○	
		リハビリテーション医学			1								1				○	
		麻酔科学・緩和医療学Ⅰ			1						1						○	
		麻酔科学・緩和医療学Ⅱ			1							1					○	
		放射線診断学			1							1					○	
		放射線腫瘍学			1								1				○	
		臨床腫瘍学			1								1				○	

	皮膚科学	1						1						○
	泌尿器科学	1						1						○
	眼科学	1						1						○
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1						1						○
	脳神経外科学	1						1						○
	歯科口腔外科学	1						1						○
	形成外科学	1						1						○
	救急・災害医学	1						1						○
	臨床検査医学	1						1						○
	臨床薬理・和漢薬学	1							1					○
	小児外科学	1						1						○
	病理診断学	1							1					○
	法医学	1							1					○
	医療安全学	1						1						○
	計	72	1		10	10	14	14	19	4				
	演習・実習科目	基礎人体科学演習	4	2	2									
		臨床医学入門	4	2	2									
		P B L	6							6				○
		解剖学実習	3			3								○
		生理学実習	2			2								○
		生化学実習	2			2								○
		組織学実習	1				1							○
		神経科学実習	1				1							○
		薬理学実習	1					1						○
		病理学実習	2				1	1						○
		微生物学実習	1				1							○
		社会医学実習	2					2						○
		臨床実習入門(演習科目)	10							10				○
		臨床実習Ⅰ(学内BSL)	44								44			○
		臨床実習Ⅱ(クリニカルクラークシップ)	17									17		○
		総合教育演習Ⅰ(CBT)	1							1				○
		総合教育演習Ⅱ	8										8	○
		総合教育演習Ⅲ(総合試験)	1										1	○
		特別教育科目(研究室研修)	3					3						○
		計	113	4	4	7	4	4	3		17	44	17	9
	計		185	5	4	17	14	18	17	19	21	44	17	9
	合 計		191	5	5	18	16	18	18	20	21	44	17	9

備考 ○印は、第2年次編入学者が修得しなければならない科目を表す。

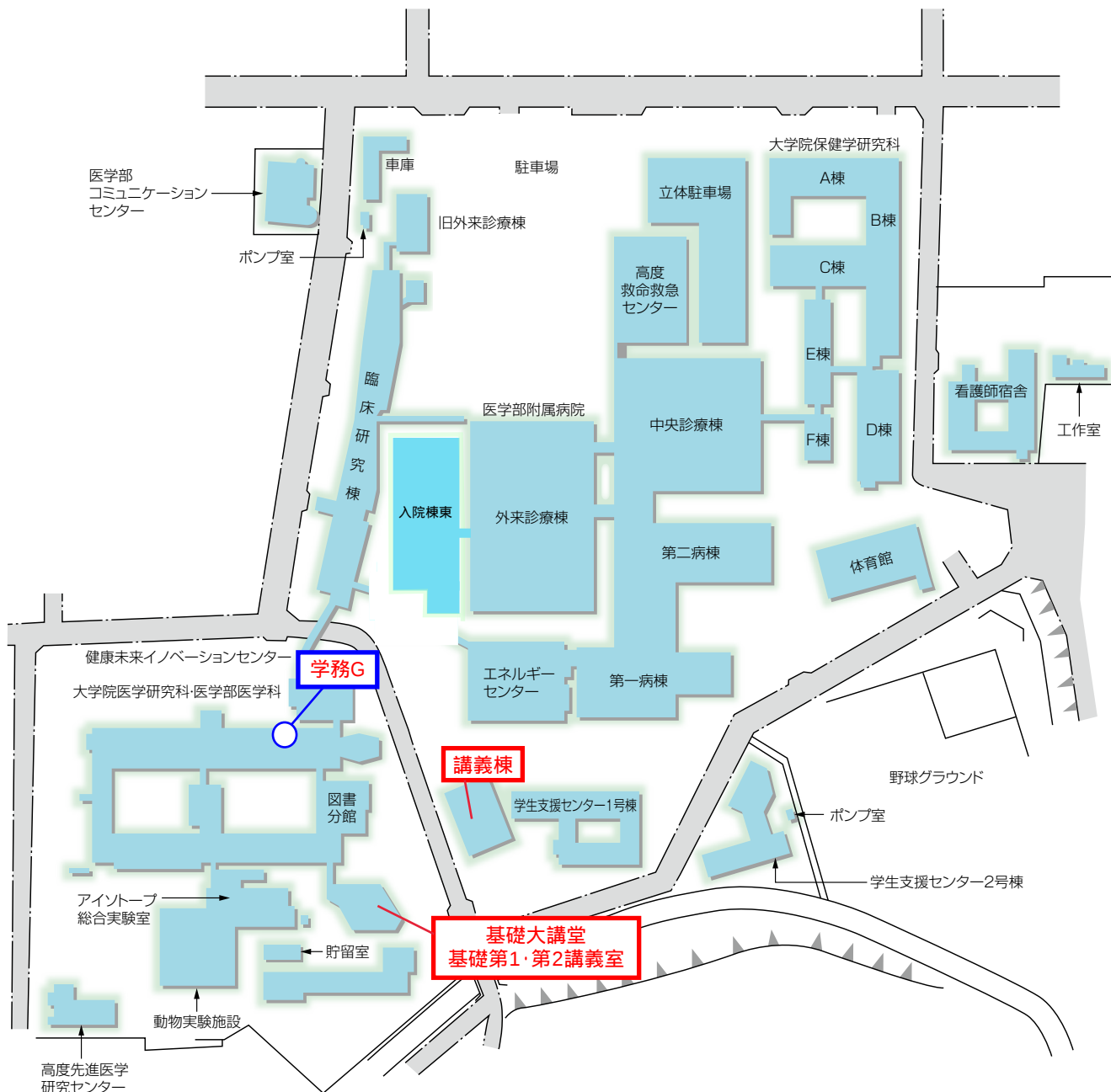
授 業 科 目 一 覧

【2019年度以降入学者】

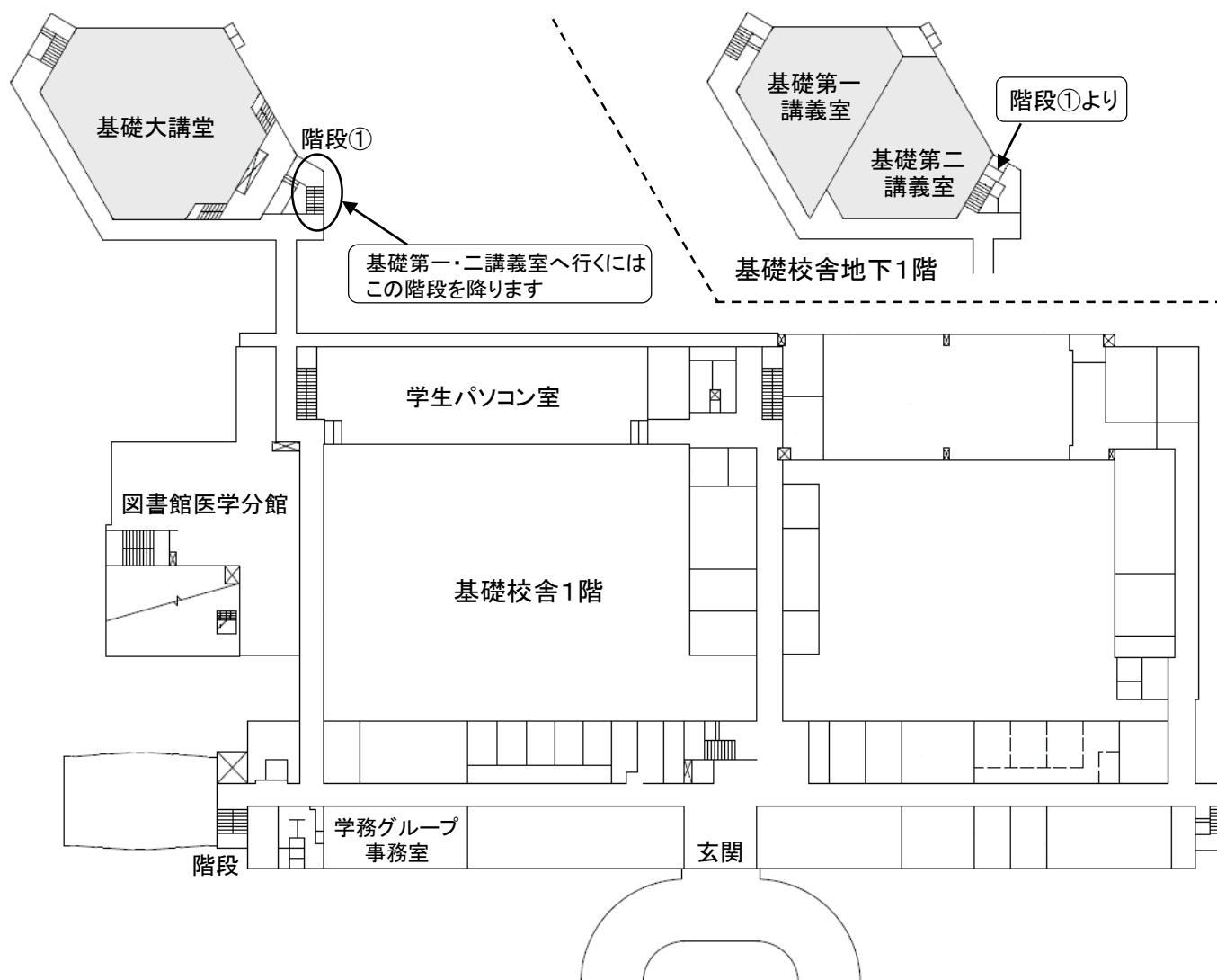
授業科目			単 位	年次別単位数												備考	
				1		2		3		4		5		6			
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
専門基礎科目	医学英語Ⅰ		1		1												
	医学英語Ⅱ		1				1										○
	医学英語Ⅲ		1						1								○
	医学英語Ⅳ		1							1							○
	医用統計学		1				1										○
	被ばく医療学		1				1										○
	計		6		1		1	2		1		1					
専門科目	コア科目	医の原則	1	1													
		医用システム工学概論	1		1												
		地域医療入門	1				1										○
		解剖学	4				4										○
		生理学	2				2										○
		生化学	2		2												○
		免疫学	1					1									○
		組織学	1		1												○
		神経科学	1					1									○
		薬理学	3					2	1								○
		病理学	3					3									○
		微生物学	3					3									○
		社会医学	2						2								○
		外科学概論	1						1								○
		消化器内科学・外科学Ⅰ	2						2								○
		消化器内科学・外科学Ⅱ	1							1							○
		循環器内科学・外科学Ⅰ	2						2								○
		循環器内科学・外科学Ⅱ	1								1						○
		内分泌・代謝学Ⅰ	2						1	1							○
		内分泌・代謝学Ⅱ	1							1							○
		血液内科学Ⅰ	1								1						○
		血液内科学Ⅱ	1									1					○
		呼吸器内科学・外科学Ⅰ	1						1								○
		呼吸器内科学・外科学Ⅱ	1								1						○
		感染症学	1						1								○
		臨床免疫学	1							1							○
		神経精神医学Ⅰ	1						1								○
		神経精神医学Ⅱ	1								1						○
		小児科学Ⅰ	1						1								○
		小児科学Ⅱ	1								1						○
		婦人科学	1								1						○
		周産期医学	1									1					○
		神経内科学	1							1							○
		腎臓内科学	1								1						○
		症候学	1									1					○
		整形外科Ⅰ	1								1						○
		整形外科Ⅱ	1									1					○
		リハビリテーション医学	1										1				○
		麻酔科学・緩和医療学Ⅰ	1							1							○
		麻酔科学・緩和医療学Ⅱ	1									1					○
		放射線診断学	1							1							○
		放射線腫瘍学	1									1					○
		臨床腫瘍学	1									1					○

授業科目			単 位	年次別単位数												備考
				1		2		3		4		5		6		
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	コア科目	皮膚科学	1							1						○
		泌尿器科学	1						1							○
		眼科学	1						1							○
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1						1							○
		脳神経外科学	1						1							○
		歯科口腔外科学	1						1							○
		形成外科学	1						1							○
		救急・災害医学	1						1							○
		臨床検査医学	1						1							○
		臨床薬理・和漢薬学	1							1						○
		小児外科学	1						1							○
		病理診断学	1							1						○
		法医学	1						1							○
		医療安全学	1						1							○
		計	72	1	4	7	10	13	14	20	3					
		演習・実習科目	基礎人体科学演習	2	2											
	臨床医学入門		2	2												
	P B L		6							6						○
	解剖学実習		3			3										○
	生理学実習		2			2										○
	生化学実習		2			2										○
	組織学実習		1		1											○
	神経科学実習		1				1									○
	薬理学実習		1					1								○
	病理学実習		2					2								○
	微生物学実習		1				1									○
	社会医学実習		2					2								○
	臨床実習入門		10							10						○
	臨床実習Ⅰ		44								44					○
	臨床実習Ⅱ		28									28				○
	総合教育演習Ⅰ		1							1						○
	総合教育演習Ⅱ		1										1			○
	総合教育演習Ⅲ		1											1		○
	特別教育科目（研究室研修）		3						3							○
	計		113	4	1	7	2	5	3		17	44		28	2	
	計	185	5	5	14	12	18	17	20	20	44		28	2		
合	計	191	5	6	15	14	18	18	21	20	44		28	2		

備考 ○印は、第2年次編入学者が修得しなければならない科目を表す。



講義室等配置図

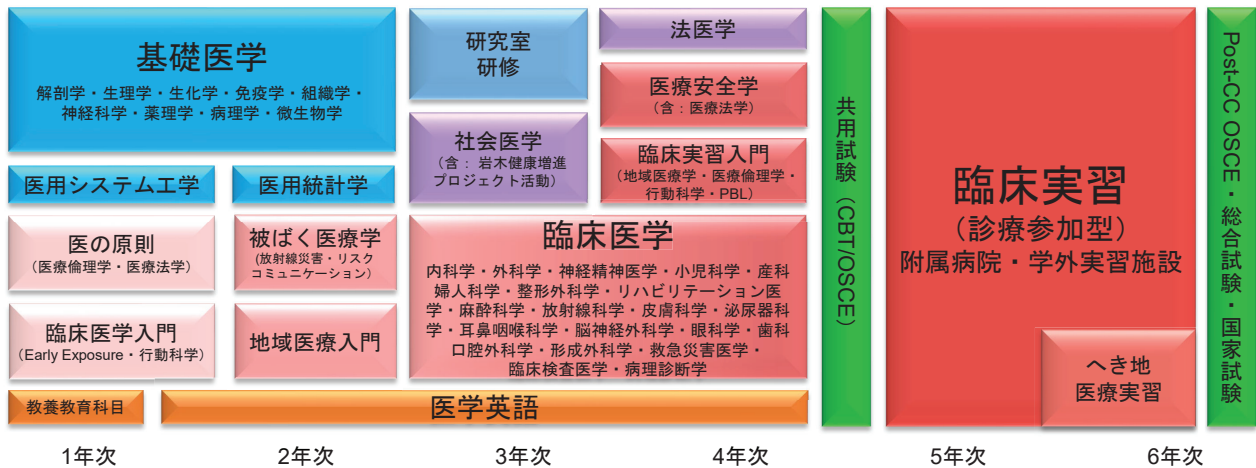


弘前大学医学部医学科カリキュラムマップ

令和元（2019）年度～
令和5（2023）年度入学者

豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、
広い視野と柔軟な思考力を持つ医師・医学研究者の養成

1. プロフェッショナリズム
2. 医学的知識
3. 問題対応能力
4. 診察技能と患者ケア
5. コミュニケーション能力
6. チーム医療の実践
7. 医療の質と安全管理
8. 社会における医療の実践と国際的視野
9. 科学的探究
10. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

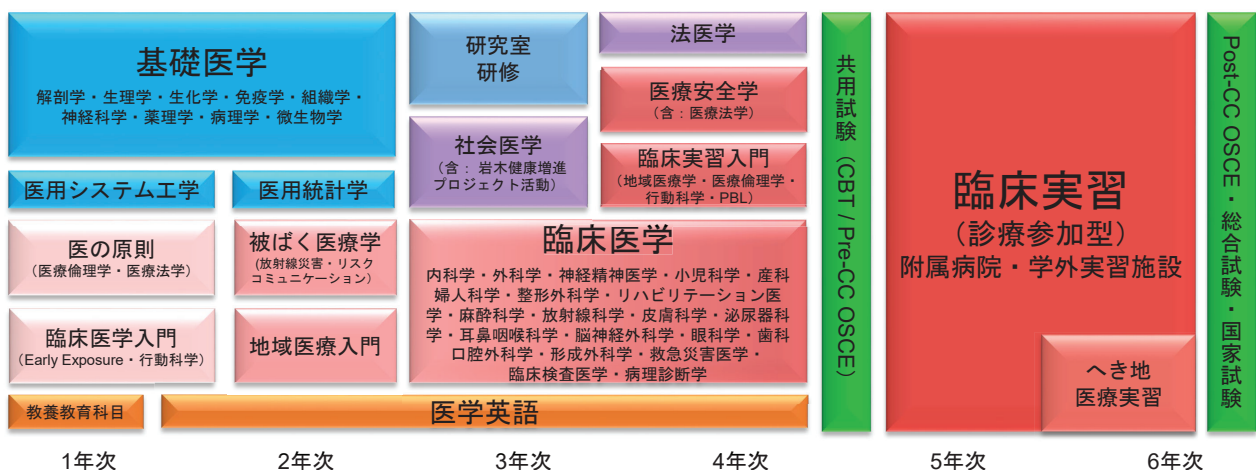


弘前大学医学部医学科カリキュラムマップ

令和6（2024）年度以降入学者

豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、
広い視野と柔軟な思考力を持つ医師・医学研究者の養成

- PR. プロフェッショナリズム
- GE. 総合的に患者・生活者をみる姿勢
- LL. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
- RE. 科学的探究
- PS. 専門知識に基づいた問題解決能力
- IT. 情報・科学技術を活かす能力
- CS. 患者ケアのための診療技能
- CM. コミュニケーション能力
- IP. 多職種連携能力
- SO. 社会における医療の役割の理解



弘前大学医学部医学科

1. 人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担います。
2. 豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、広い視野と柔軟な思考力をもつ医師、医学研究者を養成します。
3. 科学の進歩と専門性を生かした国際水準の基礎的、応用的な医学研究を推進します。
4. 国際的視点に立った高度で先端的な医療と健康増進を、地域社会と連携しながら実践します。

